



犬用 肝臓サポートは、肝疾患にともなう高アンモニア血症を呈する犬に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、消化性の高い植物性タンパク質を適切な量に調整しています。また消化性の高い炭水化物を使用し、銅の含有量を制限*1するとともに必須脂肪酸や亜鉛含有量を調整しています。

この食事療法食の対象



● **主に高アンモニア血症をともなう慢性肝炎**
余剰のアンモニアの発生を低減するために、アンモニアのもととなるタンパク質の量を適切な量に調整した食事が推奨されます。

また、発酵性食物繊維が腸内細菌に利用されて生成される短鎖脂肪酸が腸管内pHを低下させ、アンモニアが吸収されにくいアンモニウムイオンになり、さらにpHの低下が腸管内輸送を促すことにより、糞便中へ排泄されることが期待できます。



● **肝性脳症(慢性的な肝疾患や門脈シャントによって起こる)** ● **門脈シャント** ● **肝不全**
肝性脳症は慢性的な肝疾患や門脈シャントによって血中に有害な物質が蓄積することによって起こります。主な原因はアンモニアなどタンパク質の分解生成物と考えられており、食事のタンパク質の量を適切な量に調整することが推奨されます。

門脈シャントでは、門脈圧が亢進して血管外へ水分が流出するため、食事のナトリウム含有量を適切な量に制限することが推奨されます。本製品では、ナトリウム含有量を制限*2しています。



● **銅蓄積性肝疾患**

胆汁うっ滞による肝細胞内および間質への銅蓄積に配慮し、銅の含有量を制限*1するとともに亜鉛を増強*4しています。

● **尿酸アンモニウム結石症**

尿酸のもととなるプリン体の含有量の少ない食事が推奨されます。

※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

成分	単位/400kcal
タンパク質	16.0g ↓ ↓
脂肪	16.0g
食物繊維	7.1g
灰分	4.6g
水分	9.5g
炭水化物	52.0g ↑
カルシウム	0.7g
カリウム	0.90g ↑
リン	0.51g
マグネシウム	0.08g
鉄	16.44mg

成分	単位/400kcal
銅*1	0.40mg ↓ ↓
亜鉛*4	23.76mg ↑
ナトリウム*3	0.20g ↓ ↓
EPA+DHA	201mg
L-カルニチン	30.1mg ↑
タウリン	0.21g ↑
アルギニン	1.14g
ビタミンE	60.2mg ↑
ビタミンC	20.05mg ↑
ビタミンB群	5.95mg

↓ やや制限 ↓ ↓ 制限 ↑ やや強化 ↑ ↑ 強化



規格：1kg・3kg・8kg

代謝エネルギー ... 399kcal/100g ↑*2

1日の給与量の目安

1カップ=200cc

成犬の体重 (kg)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	30	40
標準	55g 0.9カップ	90g 1.4カップ	120g 1.9カップ	150g 2.3カップ	180g 2.8カップ	205g 3.2カップ	225g 3.5カップ	250g 3.9カップ	275g 4.3カップ	295g 4.6カップ	395g 6.2カップ	490g 7.7カップ
調整範囲	最大 65g 1.0カップ	110g 1.7カップ	145g 2.3カップ	180g 2.8カップ	215g 3.4カップ	245g 3.8カップ	275g 4.3カップ	300g 4.7カップ	325g 5.1カップ	355g 5.5カップ	475g 7.4カップ	585g 9.1カップ
	最小 45g 0.7カップ	75g 1.2カップ	100g 1.6カップ	120g 1.9カップ	140g 2.2カップ	160g 2.5カップ	180g 2.8カップ	200g 3.1カップ	220g 3.4カップ	235g 3.7カップ	315g 4.9カップ	390g 6.1カップ

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。



原寸大

使用が推奨されない病態等

● **妊娠・授乳期、成長期**

タンパク、リン、銅などが不足するため推奨されません。

● **軽度肝炎や空胞性肝障害など**

軽度肝炎や空胞性肝障害などでは、肝臓の回復のためにタンパク質がむしろ通常よりも多く必要となります。このような場合、タンパク質を制限した本製品は推奨されません。

原材料

米、コーン、動物性油脂、大豆分離タンパク(消化率95%)、加水分解動物性タンパク、ビートパルプ、大豆油、セルロース、魚油、フラクトオリゴ糖、マリーゴールドエキス(ルテイン源)、アミノ酸類(DL-メチオニン、L-リジン、タウリン、L-カルニチン)、ミネラル類(Ca、K、Cl、P、Na、Zn、Fe、Mn、I、Se)、ビタミン類(コリン、E、C、パントテン酸カルシウム、ナイアシン、B6、B1、A、B2、ビオチン、葉酸、B12、D3、K3)、保存料(ソルビン酸カリウム)、酸化防止剤(BHA、没食子酸プロピル)

※調査の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 本バラエティーにはウェットタイプ(缶)もあります。
- 給与期間は肝疾患の原因および肝細胞の再生能力などの違いによってさまざまです。
- 慢性疾患の場合には、生涯にわたる給与が必要となることがあります。
- 食後の肝臓負担を軽減させるためには、1日の給与量を少量ずつ数回に分けて与えることが推奨されます。

- 軽度肝炎や空胞性肝障害などでは、良質なタンパク質を適正量含んだ栄養バランスのとれた食事が推奨されます。軽度肝疾患のための栄養成分も含んでいる食事としては、「犬用 心臓サポート1+関節サポート(ドライタイプ)」、「犬用 関節サポート(ドライタイプ)」などがあります。
- 軽度の脂肪肝では、「犬用 消化器サポート(低脂肪)(ドライタイプ、ウェットタイプ)」もあります。
- 本製品の各通店に対して選択いただける他のバラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7、P.8)」をご覧ください。